

出ラタル者廿餘名ニ及ヘリ後ツテ業鴨支部ノ拘束
ハ益々衰微スルモノト認めラルモノ引續キ
右及申(通)報 候 也

争議解決懸示報告

本組合業鴨支部大畑伸銅車議に關しては數回ノ飛散によつて議員の
内同情と申声援に訴へた次第も有ります其後實業家は依然舊迷の態度
を以て交渉を拒み地方官憲を使強して車議團の切り崩しに腐心し遂
に十八日未明九時の職工は官憲のため自定より工場内に侵入致され
いへ五名の入場者を出すの止むなき状態に至つたのみならず茲に於て
結束石の如き争議團は官憲の不当極まり壓迫を孔痛し憤々不平
に對すし市民の同情に訴へる為廿日業鴨會館に於て自由法曹會の
布池伊村両弁護士及び有識者諸氏諸氏應援團諸君によつて争議
真相發表の大演説會を開いたのみならず同時に争議團は工場内に入り
抵抗すため争議團本部に組織し握劍澤庵夜はゴロ窟と云ふ悲壯なる
果敢の行動に入つたのみならず、又大演説會の效ありて市民の同情は益々加
り官憲も威嚇を了す事の争議の事を認め茲に解決の曙光を窺へるに至つたに似